

広報 NO. 55

いっしょ



中学校が 火事だ！

昔から地震、雷、火事、おやじといひ、もともこわいものとして知られています。なかでも火事とおやじは日常の心がけによって避けられるものです。

火災の発生源は、タバコの火の不始末や、寝る前の火元の不始末などによって起るものが多いようです。

鹿部中学校では、火災発生時にそなえ、避難訓練を実施しました。

非常ベルと同時に校庭に飛び出す生徒も真剣そのもの……

いざ火事の場合は、訓練時と違い、我れ先に……の気持になり、先生の指示や、あらかじめきめられている避難経路などを忘れ、独自の判断で逃げることもありますが、そのことが命とりとなることになりかねません。先生の誘導にしたがって避難しましょう。

2月号

待望の栽培漁業総合センターが完成

『育てる漁業』 振興に期待

北海道が、昭和四十五年より建設中の道立栽培漁業総合センター（場長結城了伍）が完成、このほど、道よりの職員もそれぞれ赴任されました。

このセンターは施設費、研究機器あわせて約三億円の巨費を投入されたもので、貝類、魚類、海藻類などの栽培漁業の技術開発をはかるため、種苗の試験、研究をする施設です。これら栽培漁業研究施設としては、道内一の施設で、第三期北海道総合開発計画の栽培漁業の振興に大きな期待をかけられております。

近年、とる漁業から、育てる漁業への移行にともない、各町村でもいろいろな栽培漁業に着手しています。

本村でもこれまで、地元の青年が主体となった水産改良研究グループや、村と漁協がそれぞれ、昆布、ワカメ、ホタテなどの養殖事業を行なってきましたが、技術的にもまだ未熟な点があり、また一般に普及するにいたらない状態にあります。しかし、これら養殖事業が高度な研究をもって行なわれるならば、まだまだ発展するものであり、一般への普及もほど遠いものではありません。

この道立栽培センターは、種苗の飼育管理から採苗の方法までの

技術開発をはかっていきます。

センターの規模は、敷地約五万平方メートル、建物延面積二千四百二十平方メートル、建物のなかには、実験棟、培養棟、飼育棟などからなるデルタ型の平屋建て（鉄筋コンクリート造）培養棟は総ガラス張りで第一培養室（貝類）第二培養室（飼料生物）、第三培養室（海藻類・甲かく類）、第四培養室（魚類・貝類）などがあり、自然の明りが十分に部屋に差し込むようなしなけになっております。

このほか実験室三室、準備室一室、小培養室（室温五度C）、（十度C）、（十五度C）の三室があ

り、八百平方メートルの広さをもつ飼育室、さらには、冷凍室二室があります。

また、停電したときのために、一分間以内に電気を送ることができ五百キロワットの自家発電装置、沖合い五百五十メートル海底から毎時二百五十トンの海水をくみあげるポンプ室、五百トンの貯水能力をもつ海水ろ過そう、最新設備のアクアトロン装置などもあります。

このアクアトロン装置は海水の温度を調節する機械で、水温二十五度なら毎時十五トン、五度なら五トンまで供給できるもので、培養棟、実験室などに配管されております。

研究する主なものは、魚貝類、

赴任にあたってごあいさつ

北海道立栽培漁業総合センター

場長 結城了伍

鹿部の皆様、このたび出来潤に建設されました栽培漁業総合センターは、さる1月1日に正式に発足いたしました。なお、職員、家族総勢30名が皆様方の仲間入りいたしましたので、これからは公私にわたり、なにかとお世話になりますゆえ、よろしくお願いたします。

この紙面を拝借して、謹んでご挨拶申し上げます。

このセンターは開発計画にもとづいて、全国一を誇ります。ここでは栽培研究を専門に行なゆくは栽培う予定になっておセンターの陣容課、技術開発第1か類の種苗培養



第3期北海道総合設置されたもの立派な施設で漁業に関する試験漁業の研究も行なります。

は取りあえず総務科（魚貝類・甲かく類の種苗培養）となっており、

新世帯でなにもありませんので1本10円位の試験管のはてから、1台5百万円もする高級備品（高圧加熱殺菌器）にいたるまで、試験研究に必要な器具、機械、薬品などを取り揃え、一日も早くセンターの機能が発揮できるよう準備作業を進めている現状です。

逐次研究職員も増員されますが、栽培漁業にほんとうに役立つ研究成果をあげ、沿岸漁業の振興に、微力ながらできるかぎりの努力をする決意をもちまして、全職員がここに参集した次第です。

何分とも土地不案内の者ばかりですから、皆様方のあたたかいご支援とご高配を賜りたく、よろしくお願申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

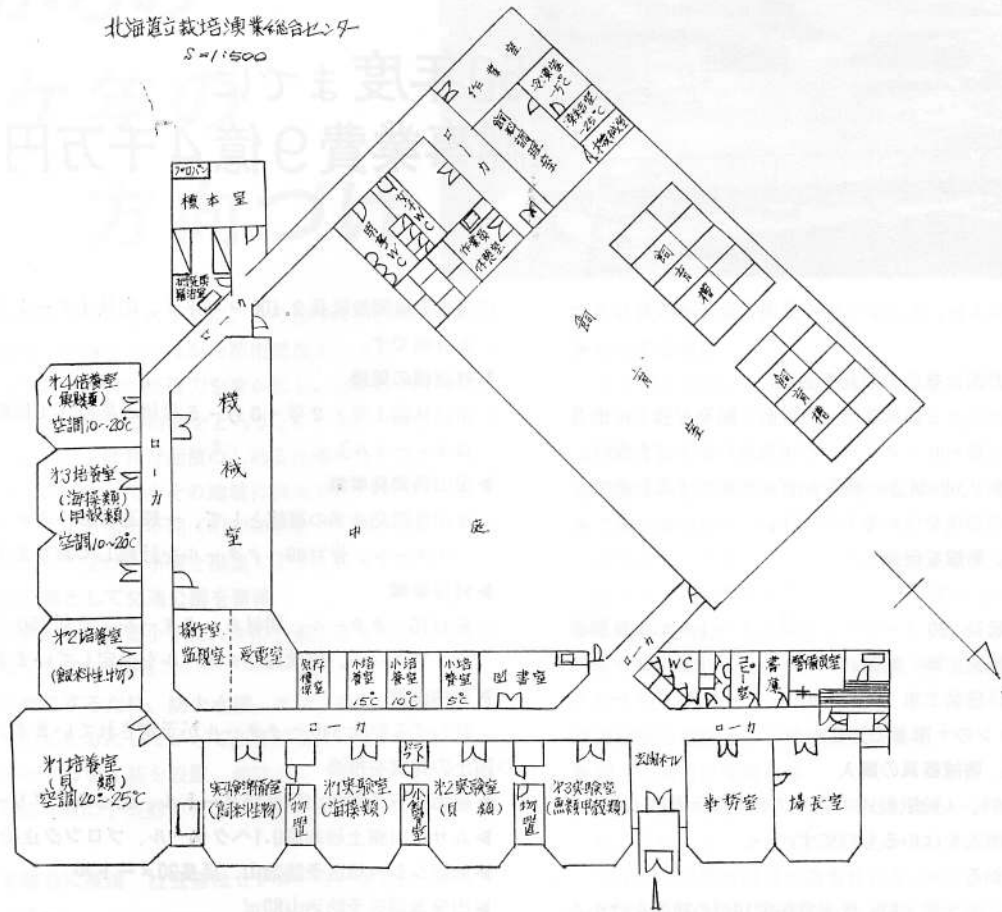
甲かく類、海藻の培養技術の開発などを行ないます。

当分の間、アワビ、ホツキ、毛ガニ、ソイ、ホツカイエビ、ノリ、コンブなどの採苗、飼育、人工ふ化など研究をすることになって

います。このほか、将来はヒラメの培養を予定され、ソイやヒラメなどの稚魚を育てていどまで育て、放流して行くものです。本格的な研究は四月頃からの予定です。

このように高度な研究が進むにつれ、本道の栽培漁業技術は前進し、漁民の期待にこたえようというものです。

北海道立栽培漁業総合センター



栽培センター建設内設

- | | | | | |
|--------------------------|-------------------------------|---|------------------------------------|-----------------|
| 1. 施設費 | 256,800千円 (建物内部設備) | イ. 冷却源 | チューリングユニット // | 91.000kcal/H 2基 |
| 2. 研究機器 | 42,551千円 (46.10.1現在) | ウ. 海水熱交換器 | チタン合金製 | 2基 |
| 3. 施設の内容 | | エ. 海水揚水ポンプ | | 8台 |
| ア. 建物 | 2,420.17㎡ | オ. ろ過槽用ポンプ | | 5台 |
| 内設 | | カ. 海水調温用ポンプ | | 6台 |
| 実験棟・培養棟 | 1,263.45㎡ | キ. 室温調整用ポンプ | | 7台 |
| 飼育棟 | 800㎡ | ク. 空気供給用コンプレッサー | | 2基 |
| ろ過槽 (3階建) | 96㎡ | ケ. 空調機 | | 3基 |
| 海水回収槽 (350t) | 96㎡ | コ. 小培養室用冷凍機及びファンコイルユニット | | 3組 |
| 自家発電室 | 60㎡ | サ. 冷凍室凍結室 | | 2組 |
| 倉庫(69.12)車庫(21.6)90.72㎡ | | 5. 飼育水槽の規模 | | |
| ポンプ室 | 14㎡ | ア. 固定水槽 | 5m×2m 10t 10面
2m×2m 4t 10面 | |
| イ. 自家発電能力 | 500kw (全負荷切換) | イ. 移動水槽 | 培養水槽 0.5~2槽 129個
飼育水槽 1~2槽 143個 | |
| ウ. 受電施設 | 400kw | 6. その他 | | |
| エ. 水族環境調節能力 (アクアトロニック性能) | | ア. 実験室、培養室、飼育棟には調温水 2系統、ろ過、海水、生海水、空気、淡水、ガス200w 3相コンセントを配している。 | | |
| 15°C 海水 | 5t/H | イ. 操作室、監視室にて、全機の操作を行ない、作動状況を総合監視する。 | | |
| 25°C 海水 | 15t/H | | | |
| オ. 海水揚水能力 | 毎時 250t | | | |
| カ. 淡水使用量 | 1日 50t | | | |
| キ. 貯油槽容量 | 10t | | | |
| 4. 設備の機能規模 | | | | |
| ア. 温熱源 | セクショナル缶 常用出力 208.000kcal/H 3缶 | | | |

山村振興事業などで具体化

50年度までに 総事業費9億4千万円を計画

このほか、出来淵海水浴、キャンプ場の整備もあわせて行なう予定です。

▷肉牛繁殖基地としての国営草地の開発を促進

鹿部村と南茅部町共同による国営草地（万豊敷）開発を強力に推進さらには本村内駒ヶ岳山麓800ヘクタールの国有地の払下げを受け、草地の開発を行ない、将来2,000頭余の肉牛飼育が可能にする計画で、将来肉牛主産地としての形成をはかるものです。

▷村内道路の改良舗装、新設を促進

＜改良・舗装＞

- 村道市街地1号線延長220メートル、巾員5メートルの改良舗装
- 村道東光寺線改良舗装工事 延長1000メートル、巾員5メートル
- 村道常呂山線の改良舗装工事 延長668メートル巾員、5メートル（リハビリテーションのケ所まで）など

▷ダンプショベルなど、機械器具の購入

- ダンプショベル D63、4輪駆動式スレーブラオ付除雪車1台
- ジープ1台などの購入をはかるものです。

▷公営住宅の建設をはかる

公営住宅第1種8戸、第2種4戸、低家賃住宅16戸の建設をはかるものです。

▷増養殖事業の推進と、漁港の整備、近代化施設などの整備拡充をはかり、水産業振興を期するものです。

▶漁業改良事業

投石（自然石）4,780㎡

▶増養殖事業

ほっき貝、あわび、ホタテ、わかめ、昆布などの養殖を推進します。

▶岩礁爆破事業

ダイナマイトなどにより海底の岩礁を爆破し、雑草、ヒトデなどの駆除を行ない、あわせて、昆布などが付着しやすいように同事業の推進をはかるようとするものです。

▶船揚場整備事業

村内各所に船揚場斜路（約10ヶ所）と、波除堤（2ヶ所）を整備します。

▶鹿部漁港修築事業

東防波堤、淡澤岩盤、旧西防波堤、東防波堤、同消波工などの除去と、東岸壁の拡巾をはかるというものです。

▶本別漁港修築事業

東防波堤、北防波堤、船揚場などを整備する計画です。

▷林業の振興を促進

▶林業開設事業

- 折戸沢林道延長4.600メートル、巾員4メートル。
- 折戸沢1号線開設延長2.600メートル、巾員4メートル
- 折戸沢2号線開設延長1.200メートル、巾員4メートル

○湯の沢線開設延長2.400メートル、巾員4メートルの林道を開設する計画です。

▶林道橋の架換

○常呂林道1号・2号・3号・5号橋の架換（1橋延長8メートル巾員4メートル）

▶里山再開発事業

里山再開発事業の継続として、一般造林49ヘクタール、公団造林69ヘクタール、皆材69ヘクタールを計画しております。

▶材採事業

皆材15ヘクタール、間材8ヘクタール、下刈150ヘクタール、補植10ヘクタール、除伐40ヘクタールを予定しています。

▶森林保護

野ねずみ駆除540ヘクタールが予定されています。

▷国土の保全を推進

▶墓地の沢予防治山延長15メートル、60㎡コンクリート止め

▶ムサウ山腹土砂崩壊0.1ヘクタール、ブロック止め

▶鹿部シシベ地区予防治山 延長30メートル

▶出来淵地区予防治山80㎡

▷社会教育、社会体育施設を整備充実

▶屋外水泳プール建設

延長25メートル、巾16メートル（コース7コース）温水プール一面

▶総合グラウンド建設

1周400メートルグラウンド、このほか、テニスコート、バレーコート、サッカーグラウンドなどを併設の予定で、総面積30,000平方メートルを予定計画されております。

▶スキー場建設事業

鹿部台場山附近に簡易スキー場を設置する計画です。（簡易ジャンプ台2基など）

▷特別開発事業として

山村振興の目玉商品ともいわれる農林漁業特別開発事業としては、本村の基準事業費15,163千円でこれを4ヶ年間で事業を実施しなければなりません。これは国が5割補助、道が1割補助で行なう事業で本村では次のものが予定されております。

▶漁船上架船台施設増設

延長68メートルの上架船台施設を既存施設のわきに増設します。

▶生活改善センター建設

字本別地区宝光寺わきに生活改善センター1棟（ブロック平家、258.37㎡）を建設し、地域住民の生活改善に資することを目的とされています。

これら計画については実施年度において具体的にお知らせしますが、村のこれからの4ヶ年の方向づけとして、これらが基盤となって推進されるものです。

これからの 4ケ年の 方向づけ



昭和40年山村振興法が制定されました。この法律は、山村において産業基盤や生活環境の整備などがほかの都市部などにくらべ、開発がおくれていることから、山村の経済力を豊かにし、住民の福祉の向上をはかりながら、都市などとの均衡をとろうというものです。

この法律では「山村」とは林野面積のしめる比率が全面積の75%以上にあたる町村をいい、本村でもその地域に該当され、同法「山村」の指定をうけ、今年度より4ケ年間（昭和50年まで）国や道からの補助事業や起債を優先して受け、事業を推進しようというものです。

▷交通安全教育の場として交通公園を整備

交通安全教育の場として鹿部小学校わき交通公園を整備、信号機など備品をも整備する予定です。

▷防災施設を万全にするため、防火水槽、ポンプ車など配備

消防施設は住宅がふえるにしたがって必要になってきますが、各地域に防火水槽40㎡級ものを4基を設置、消防ポンプ車A2級工率85kw1台増設、各地域分団に小型動力ポンプ付積載車3台を配備する計画です。

▷社会福祉事業を強力に推進 社会福祉センターなどを建設

▶社会福祉センター

住民の社会福祉施設としての同センターの建設（鉄筋コンクリート2階建 1.355㎡）をはかり、住民のだれもが、親しんで使用で

きる施設の設置をしようとするものです。

▶保育所の建設

現在ある季節保育所は建物などの老朽が著るしいため、保育所の常設をはかり通年制にする計画です。建物はブロック造1階建600㎡の予定です。

▷環境衛生施設の充実をはかり清潔な村づくりを推進

▶ごみ処理施設センター

将来においても「ごみ」の量がふえることを考慮したごみ処理施設センターを茅部各町村との共同出資により建設するものです。

▶し尿処理施設

茅部4ヶ町村共同出資により建設をするもので場所などについては未定です。

▷自然保護を基調とした観光事業に着手

▶観光公共施設整備事業

鹿部は駒ヶ岳と温泉、海、そしてはるかに見える羊蹄山など、自然の景観にめぐまれていることから、自然保護を基調としながら字本別出来潤岬附近の道有林野などの活用を行ない、また、大岩朝日ヶ丘公園に公衆便所、駐車場、野営施設、展望施設などを整備し、将来、住民の憩いの場、国民休養地としての形成をはかって行く計画です。

冬の交通事故をなくそう

例年になく雪が少ないと喜んでいたのも、先日の大雪で事故が多発しましたが、運転者のみなさんは安全運転に心がけ、歩行者のみなさんは正しい歩行を心がけ、事故の防止と交通混雑の緩和をはかることに協力ください。

1. 道路を横断する場合、附近に横断歩道があるところではかならずこれらの安全施設を利用する。

▽車間距離の保持と安全速度を守ろう

1. 道路と、交通事情に応じた速度と方法で運転し、無理な追越し、追ぬき、割込み、信号無視などの危険な行為をしない。

2. 冬道では、道路を横断しようとするときは、車がスリップすることを考えて慎重に横断する。

▽常にスリップすることを計算に入れ、車間距離を保持し、スピードの出すぎはしない

3. 前照灯、制動灯などが雪におおわれたまま運転をしない。

3. 冬道では、道路を横断しようとするときは、車がスリップすることを考えて慎重に横断する。

▽車間距離の保持と安全速度を守ろう

1. 車の定期点検整備はもちろん運転に支障ある車両は完全に整備する。

4. 降雪、吹雪などにより視界が不十分なときは、とくに車の通行に注意して歩行する。

▽2. すべり止め装置の点検整備

2. すべり止め装置の点検整備を守ろう

5. 道路へのとび出し、斜め横断はしない。

▽1. 酒を飲んだときは絶対に車を運転しない。

1. 酒を飲んだときは絶対に車を運転しない。

▽子ども、老人などの保護をしよう

3. 酒を飲む機会に出かけるときは、車を家において出向く。

1. 学校、保育所附近では、とくに児童、園児の通行に注意安全を確認し常に安全な速度で運転する。

▽慎重な歩行を守ろう

2. こどもの路上でのスキー、スケート、ソリ遊びをさせないように徹底させる。

▽道路は広くきれいにしよう

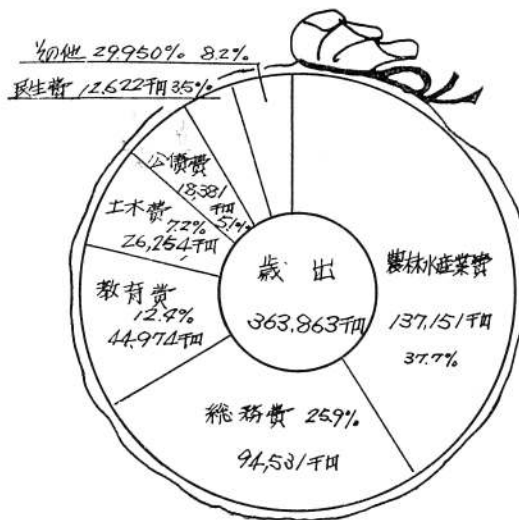
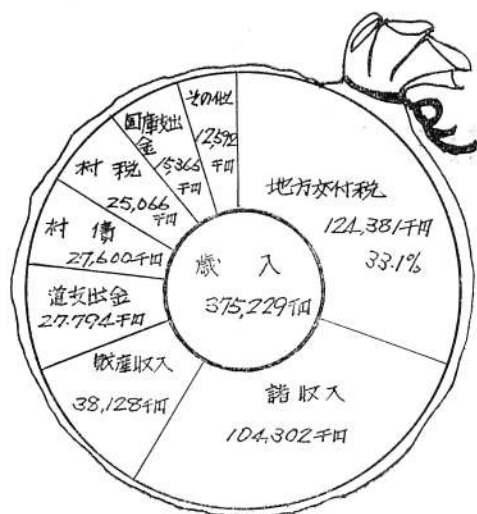
1. 道路は公共の場です。開発や村が行なう除排雪には地域ぐるみで協力する。

▽通行や除排雪作業の障害となる物件の放置や、荷さばき作業をしない。

3. 通行や除排雪作業の障害となる物件の放置や、荷さばき作業をしない。

昭和45年度一般会計歳入歳出決算

村のふとこころ具合

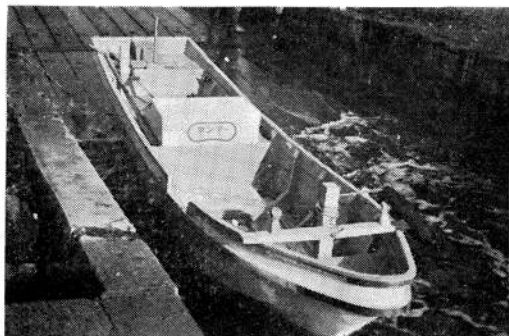


▶ 特別会計歳入歳出決算

昭和45年度 国民健康保険事業勘定特別会計決算

歳入	
款	収 入 済 額
1. 国民健康保険税	16,560千円
2. 使用料及び手数料	3
3. 国庫支出金	44,329
4. 財産収入	2
5. 繰越金	0
6. 諸収入	101
合 計	60,995

歳出	
款	支 出 済 額
1. 総務費	3,007千円
2. 保険給付費	51,707
3. 公債費	65
4. 諸支出金	0
5. 予備費	0
合 計	54,779



建造したプラスチック船

改良研究グループはこれまで研究のためには民間の船を使用してきたため、支障をきたしていましたが、今後はプラスチック船による活躍で、巾広い研究ができるものと期待されます。

同船の船体はプラスチックでできており、総トン数〇・八二トン四・五馬力のダイゼルエンジンを搭載しております。

水産研究グループが
FRP漁船を建造
△振興奨励補助事業で▽
鹿部水産改良研究グループ(会長 桜田博孝)では、支庁管内振興奨励補助事業として、道より助成金二十万円、村と漁協よりの助成を受け、村内では初めてのFRP漁船を建造しました。

昭和45年度 ミンク飼育事業特別会計決算

歳入

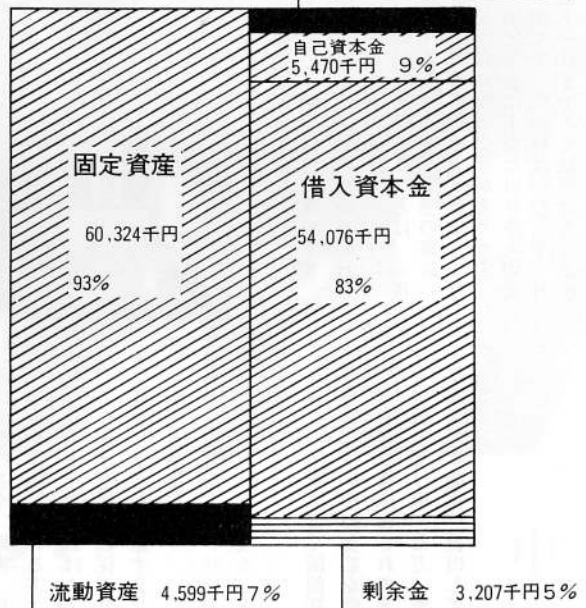
款	収入 済 額
1. 財産収入	54,142 千円
2. 分担金及び負担金	0
3. 使用料及び手数料	1,172
4. 諸 取 入	64
合 計	55,378

歳出

款	支出 済 額
1. 飼 育 費	26,978 千円
2. 公 債 費	2,567
3. 諸 支 出 金	36,032
4. 予 備 費	0
合 計	65,577

昭和45年度 水道事業会計決算

流動不産 170千円3%



鹿部地区労の善意に感謝

▲十三年間続く歳末助け合い運動
鹿部地区労働組合協議会（加盟単組函館バス・役場・郵便局・小中学校。議長中根金太郎）は、結成以来、毎年歳末助け合い運動を実施し、村内の困窮世帯や老人家庭などの人達に少しでも明るい正月を迎えてもらおうと今年も組合員のみなさんの暖かい善意が役場に届けられました。
この運動は今年で十三年になり社会福祉協議会などの福祉団体からその行為に対して、深く感謝されております。

今年も五万円の寄贈

▲ピーチランド社長が
村内で不動産の事業をしている（株）北海道鹿部観光開発協会（社長伊藤英一）ピーチランドより村内の生活困窮者などに活用してもらおうと村に五万円の寄贈がありました。
同社では昨年も二十万円の寄贈がありました。



四十六年度

共同募金目標達成

▲募金額 約九万円▼

全国一斉に昨年十月一日から十二月末日まで実施されました共同募金は住民のみなさんの暖かいご理解のもとに目標をうわまわる約九万円近かくの募金がありました。住民のみなさんの暖かい善意は不幸な人達のために活用されます。ご協力をいただいた住民のみなさん方に感謝申し上げます。

柔道のたたま贈る

宮浜の 宮本さん

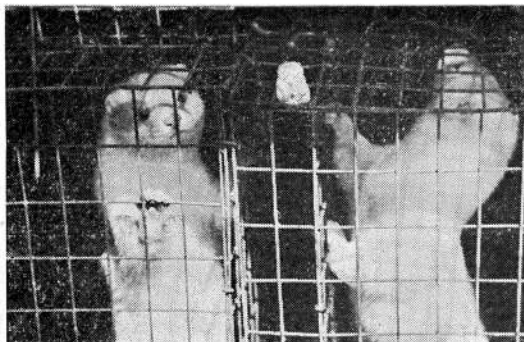
旧役場庁舎を改築して青少年の柔道場として利用しておりますが柔道場のたたま四十枚（約十二万円相当）を字宮浜丸宮水産株式会社社長宮本利明さんが寄贈いたしました。

この善意に対し、心からお礼申しあげ、大切に使用させていただきます。



鹿部村通産大臣賞を受彰

一月十七日、日本ミンク協会主催の第一回全日本ミンク毛皮品評会が札幌市健康会館で開かれ、本村のミンクが、日本一、優秀なミンクとして通産大臣賞を受彰しました。



女性のがれミンク

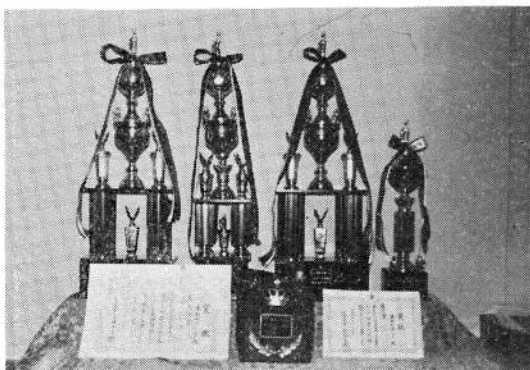
この日、全国から三十八品のミンクが寄せられ、サファイヤー、バイオレット、ダーク、パステル、パールなど計六部門(牡のみ)の種類別に出品されたものです。各飼育場一部門一ロット(十枚単位)で六十ロットが出品され、鹿部村ミンク場よりサファイヤー、バイオレットそのほかの部門でラベンダーを各一ロットづつ出品しました。

慎重な審査の結果、サファイヤー一種で名譽ある最高位賞を獲得し通産大臣賞、北海道知事賞、日本ミンク協会賞、原毛皮協会賞など数々の賞状、トロフィー、タテなどを贈られました。

このほか、バイオレット種では二位、ランベンダー種で四位を獲得、名実ともに「日本一」となったわけでは。これまでの全国種ミンク共進会でも四十六年十一月にサファイヤー

一種で二位、バイオレット種で三位、総合で第二位を獲得しております。鹿部ミンク場は、昭和三十四年に約三百頭余りでスタートしたのが現在では約六千頭を有しております。

贈られたトロフィーの数々



身体障害者に六十五才から

老令福祉年金を支給

従来七十才から支給されていた老令年金を満六十五才以上七十才未満の方に支給されます。

これに該当する方は国民年金法に定める障害の程度が二級「身体障害者福祉法の三級」で、四十六年十一月一日現在満六十五才以上七十才未満の方です。

詳しくは民生課国民年金係へお問合せください。

国民年金の受給者は

現況届をしましょう

国民年金の老令、障害、母子などの年金を受給している方は今月中に現況届をしなければなりません。この届は受給者の住所変更、または生存などを確認するなど年に一度の大事な届です。

もしこの届をしない時は今後の年金が受けられなくなることもあります。

なおこの用紙は近く函館社会保険事務所より年金の支払を受けている本人宛直接送付されてきますので用紙を受け取った方は至急民生課の国民年金係へ提出してください。

ホテル名称募集

昨年十月にホテル名を募集いたしました。応募者数などが少ないなどのため、発表をみあわせておりましたが、日本航空事業株式会社で再度次のような要領でホテル名を募集しております。

▽募集要領

日本航空事業株式会社では一般旅行大衆目的の宿泊施設ホテルを目下建設中で、本年六月に開業する予定となっておりますので、その旅館名称を募集します。

村民の皆様、ふるって応募してください。

一、名称 大衆に好感をもって受け入れられるもの

(日本名、外国名は問いません)

一、応募切 三月十五日(当日消印有効)

一、宛先 鹿部村役場企画課

一、郵便ハガキに一人一名を記入し、氏名、年令、職業を記入のこと。

一、入選者決定は厳正公平に行います。

一、賞 入選者には一名五万円、ほかに一時間無料飛行招待

入選外佳作 五名を三十分の無料飛行招待

◎昨年十月応募いただいたものも有効です。

旧軍人・旧軍属者に一時恩給を支給

法改正により旧軍人、旧准軍人として引き続き実在職年が三年以上7年未満の旧軍人で下士官以上として在職年(加算年を含む)が一年以上のもの、または遺族に一時恩給または一時扶助料を支給されることになりました。

ただし、年金、恩給または共済年金を受けている人は支給されません。

なお、旧軍属の人についても旧軍人同様支給されることになりましたので該当と思われる方は民生課に申し出てください。

保険料は忘れずに

納期は三月末日です

国民年金の保険料を納め忘れの方はおりませんか……保険料を滞納することは、老後に受ける老令年金、不慮の事故の際に受け障害年金および母子年金が受けられないことがあります。国民年金はあなた自身の大切な財産です。保険料はかならず三月三十一日までに完納させましょう